

2021年12月10日第1回AIRO ビジネスセミナー

「ASEAN 航空市場の現状と今後」

宿利会長 開会ご挨拶

皆様、こんにちは。運輸総合研究所の宿利正史です。

本日は、師走でご多用の中にもかかわらず、大変多くの皆様にご参加いただきました。誠にありがとうございます。

運輸総合研究所では、本年4月1日にタイ王国バンコクに「アセアン・インド地域事務所」を開設いたしました。通称AIRO（アイロ）と呼んでおりますが、この活動を通じて得られた情報や知見を、AIROの研究員から「運輸政策コロキウム バンコクレポート ～スタートアップシリーズ～」という形で、皆様にお届けしています。先月26日に開催したバンコクレポートその2では、ASEANの航空をテーマに取り上げ、ASEANの航空業界が軒並みコロナにより大きな影響を受ける一方で、タイなどでは航空が依然成長産業として位置づけられ、空港の整備や人材の育成に注力していること、またASEANの統一市場に向けた域内の自由化や域外との協定の動きがあることなどをお伝えしたところです。今後順次「港湾・物流」や「鉄道」などについて皆様に情報をお届けしてまいりたいと考えております。

一方、アセアン・インド地域におきましては、多くの日本企業が運輸・観光関係の事業を展開しておられます。皆様、現地ならではの様々な最新の情報や経験・知見をお持ちです。そこで、AIROバンコクレポートとは別のシリーズとして、これらの方々をお招きし、現地からリアルな情報を発信する、リアルな市場の姿や声などをご紹介する「AIRO ビジネスセミナー」を今後順次開催してまいりたいと考えております。

本日はその第1回目ではありますが、ASEANの航空をテーマに取り上げます。我が国を代表する2つの航空会社のアジア・オセアニア地区代表の方、全日本空輸株式会社アジア・オセアニア室長兼シンガポール支店長の神田真也（かんだ しんや）

様、及び日本航空株式会社アジア・オセアニア地区支配人の畠山隆久（はたけやまたかひさ）様をシンガポールからオンラインでお招きし、講演していただきます。

さらに、全日本空輸株式会社常勤顧問でもある当研究所の藤村修一客員研究員にコメントをお願いしています。なお、冒頭にバンコクから山下主任研究員が概況について報告を行います。その後はいつものとおり、当研究所の山内所長をコーディネーターに、ディスカッション・質疑応答を皆様とともに進めていく予定です。

当研究所では、先般7月12日にデジタルワクチンパスポートの導入に関する提言を行い、さらに11月22日にはその進捗状況を検証した結果を公表するなど、国際間の人やモノの移動・輸送や関連する海外の状況についての研究調査や情報発信に努めていくつもりです。本日のビジネスセミナーにおきましても、最新のオミクロン株の影響を含めASEAN航空市場の現状と今後について、充実した情報を皆様にお届けできればと考えております。

最後になりますが、本日のビジネスセミナーにご参加いただいております皆様にとりまして、真に有益なものとなることを期待し、また、皆様が良い年の瀬をお過ごしになられますよう祈念いたしまして、私のご挨拶といたします。

本日は、ご参加いただきまして誠にありがとうございます。